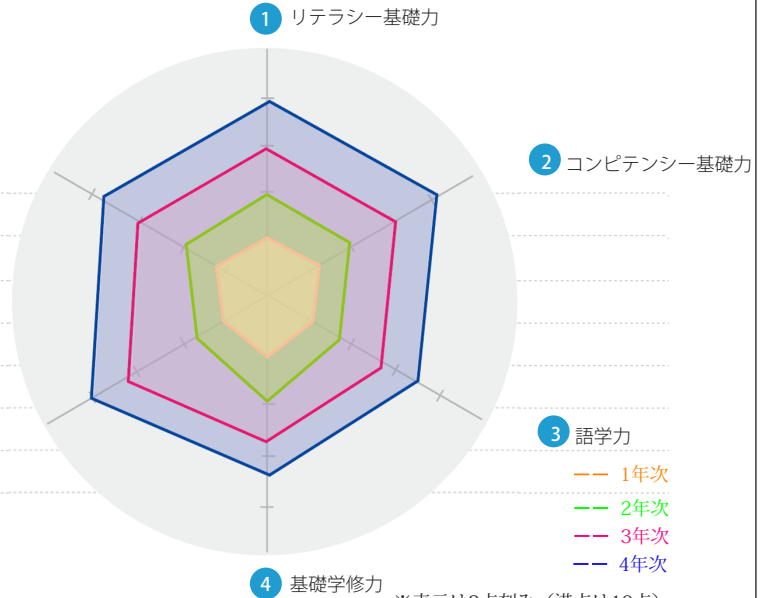


とうきょうたろう  
東京 太郎

性別 男  
生年月日 1997年11月3日  
学籍番号 1612000  
学部 工学部  
学科 機械システム工学科  
学年 4年生  
入学年度 2016年度

専門実践力 6

専門学修力 5



#### 教育課程の特色

- ・本学の機械システム工学科は、従来の機械工学に対し、電気工学および制御工学を融合したカリキュラム構成です。
- ・科目は熱流体・強度・機構・制御・計測・宇宙に系統化しています。
- ・各専門分野の基礎知識を習得するため、学科共通科目、材料工学、熱流体工学、電気電子工学、制御工学、プログラミング関連科目を必修化しています。

#### 代表的な科目

1. 語学力に関する科目 2. 基礎学修力に関する科目
3. 専門学修力に関する科目（数値シミュレーション→物理現象をコンピュータの演算によってシミュレーションするプログラム実習です。）
4. 専門実践力に関する科目（機械システム設計実習(2)→マイコンを題材に、学生自身がプロジェクトを企画し、実習を通じて、部品選定、購入、実装プログラミングを学びます。（機械工作実習→旋盤やフライス盤、研削盤といった代表的な工作機械を実際に操作して、金属加工に関する技能・知識を身に付けます。）

#### 学修成果

##### 1 リテラシー基礎力

POINT

大学で修得した学修成果、研究成果を広く社会、さらに世界に問い、働きかける準備ができている。また、積極的に社会に貢献する姿勢をもち、さらに学修、研究の質を高めていく力を身につけている。

7.8 /10pt

##### 2 コンピテンシー基礎力

POINT

大きくは「対人基礎力」「対自己基礎力」「対課題基礎力」の3つの要素から構成されている。人と自分にベストな状態をもたらす力を身につけている。

7.8 /10pt

##### 3 語学力

POINT

国際的視野に立つ幅広い教養と専門性を身につけた上で、それらを的確に表現、伝達し理解を得るためのコミュニケーション能力を身につけている。また、この能力を駆使して必要な協力を得るとともに、協働して活動できる力を身につけている。

7.0 /10pt

##### 4 基礎学修力

POINT

大学での学びに必要な学修に取り組む態度と基礎的な素質を持っているとともに、自ら学ぶための意欲を持っている。また、大学での学びに必要な学修の方法と基礎的知識の活用方法を身につけている。

7.0 /10pt

##### 5 専門学修力

POINT

基礎的な要素を十分に理解した上で、各分野における高度で専門的な知識を理解し修得している。また自らの専門分野の研究をより深めることにより、自ら課題を発見し、解決する力を身につけている。

8.1 /10pt

##### 6 専門実践力

POINT

大学で修得した学修成果、研究成果を広く社会、さらに世界に問い、働きかける準備ができている。また、積極的に社会に貢献する姿勢をもち、さらに学修、研究の質を高めていく力を身につけている。

7.8 /10pt

この学生は学修成果としてディプロマサプリメントの発行日において上記の能力を身に付けています。  
裏面のⅡ. 定性情報については、本人の自己申告に基づいて大学が承認した内容を掲載しています。

20XX年3月19日